

LMcorsa

60  **H.YOSHIMOTO**
 **R.MIYATA**

2019 SUPER GT Round 6, AUTOPOLIS GT 300km RACE

9月7日 | 天候：晴れ | コース：オートポリス | 路面：ドライ_路温29.8℃

Qualifying Day Summary

吉本大樹選手のSUPER GT参戦100戦目の記念レースは
予選Q1を宮田選手が突破し、予選Q2で吉本選手が12番手を獲得
300kmの決勝レースは、チーム一丸で上位フィニッシュを目指す

Qualifying Day

SUPER GT シリーズの中でも最長の500マイル(800km)の決勝レースを戦った第5戦「FUJI GT 500mile RACE」。SYNTIUM LMcorsa RC F GT3にとって相性の良いサーキットとは言えないが、得意とする第4戦のタイラウンドをノーポイントで終えたことにより、LMcorsaとして勝負に出ることとなった。今までに試したことのないセットアップや新たに開発されたタイヤを持ち込み、上位進出を狙ったのだが、挑戦は報われずシーズンワーストとなる22位でゴールするのが精一杯だった。



不本意なレースとなった富士スピードウェイラウンドの後は、サーキットにメカニックが居残りマシンのメンテナンスを実施。そして、翌週末にスポーツランドSUGOで実施された3回目の公式テストに向かった。2日間に亘ってテスト走行を続けたLMcorsaは、2人のドライバーが計152周を走行。シーズンの残り3戦に向けたセットアップを探るとともに、新たなタイヤ開発も同時に行なった。終盤の3戦を戦うためのデータ収集でき、このデータを元に改めて上位を狙えるマシンを約3週間のインターバルで作り上げた。

迎えた第6戦「AUTOPOLIS GT300KM RACE」は、9月7日(土)に公式練習と予選、8日(日)に300kmの決勝レースが行なわれる。

7日の8時50分から予定通りにスタートした公式練習は、まず吉本大樹選手がSYNTIUM LMcorsa RC F GT3に乗り込む。

Qualifying Day

途中でクラッシュ車両を撤去するために赤旗が提示されたが、順調に走行を重ねて、6周を走行すると、宮田莉朋選手にステアリングを託す。宮田選手はロングランの走行チェックを行なうとともに、予選シミュレーションも実施して18周を走行。2人のドライバーが計34周を周回し、大きなセットアップの変更もなく想定していた公式練習でのメニューを消化した。ベストタイムは吉本選手が記録した1分46秒495で、GT300クラスの29台中14番手のリザルトとなった。



公式練習の直後にはサーキットサファリが実施され、ここでは宮田選手が中心となり7周を走行。予選前の最終的な確認を行なった。11時50分から行なわれたピットウォークでは、今戦がSUPER GT100戦目の参戦となった吉本選手を祝うセレモニーが行なわれ、多くのファンがピットに駆け付けた。

<予選>

15分間で競われた予選Q1は予定通りの14時30分にスタートする。宮田選手が乗り込んだSYNTIUM LMcorsa RC F GT3は、コースオープンとともに走行を開始。インラップと計測1周目をウォームアップに使い、計測2周目にタイムアタックを行なう。全セクターでミスなく走り1分45秒220をマーク。このタイムならば予選Q1を突破できるということで翌週にピットに戻り、結果として6番手で予選Q2へ駒を進めた。

GT500クラスの予選Q1を挟んで行なわれたGT300クラスの予選Q2。16台のマシンがポールポジションを目指してタイムアタックを行なった。吉本選手も宮田選手と同様に2週のウォームアップ後にタイムアタックを開始する。セクター1を宮田選手と同等のタイムでクリアするが、セクター2と3のコースコンディションが変わっていたこともあり、タイムアップが果たせない。この週のタイムは1分45秒579で翌週もアタックを行なうが、すでにタイヤのグリップはピークを過ぎていて、タイム更新ができないと判断しピットへマシンを戻すことになった。結果として予選Q2は12位となり、明日の決勝レースは12番グリッドから3戦ぶりのポイント獲得を目指すことになる。



Team Comment



Director :飯田 章

今戦は持ち込みのセットアップが悪くないというフィードバックが公式練習であり、タイヤもパフォーマンスを発揮できる状態だったため、予選では上位を目指してチャレンジしました。予選 Q1 は想定通りの結果となりましたが、路面温度が上がりコースコンディションの変化があった予選 Q2 は合わせ込むことができませんでした。決勝のスタートは 12 番手ですが上位を狙えない状態ではないので、明日のレースはしっかりと展開を読んでポジションを上げていきます。



Driver :吉本 大樹

スポーツランド SUGO での公式テストで良い方向性が見えたこともあり、公式練習ではタイヤの確認をメインに行ないました。欲を言えばロングランの状況をもう少し見たかったのですが、順調な公式練習だと思っています。予選は Q2 を担当したのですが、第 1ヘアピン後の 100R が上手くまとめることができませんでした。予選 Q1 から路面温度が上がったことやコースコンディションの変化が原因だと思うのですが、トップ 10 内には入れる状態ただけに悔やまれます。しかし、明日は天候が不安定になりそうですし、元々オートポリスは荒れるので、粘り強く走って上位進出していきたいです。



Driver :宮田 莉朋

スポーツランド SUGO の公式テストで多くのタイヤをテストして、良いモデルが見つかったと思っています。公式練習は昨年のタイムよりも遅かったのですが、ライバル勢も同様の傾向だったためマシンに戦闘力があることが確認できました。予選 Q1 は 1 分 45 秒台に入れば突破できると判断していて、結果として 1 分 45 秒 220 でした。予想していたポジションよりも良かったので、役目は果たせたと思っています。決勝レースはもちろん優勝を目指して走りますが、ここ数戦はポイントが獲れていないので、自力でトップ 10 フィニッシュしたいです。

